

山中だより

山中
キャッチ
フレーズ
してもら
させられる人から
する人へ

枚方市立山田中学校 学校通信 第7号

発行 令和2年6月29日 校長 交久瀬 善浩

◆◆今日から1年生はクラブ本入部です！！◆◆

先週23日(火)から始まった1年生のクラブ仮入部期間が終了し、本日から本入部となりました。1年生の皆さんは、仮入部期間中に自分に一番合っているクラブを見つけることができましたか？今日から本入部となり、本格的な活動となります。

1年生の活動時間も延長可能となり、17時45分まで活動、下校は18時00分となります。最初の内は慣れずに体力的にもしんどい日が続くかもしれません。最初にあまり頑張りすぎて体調を崩すといけませんので、無理をしない程度に自分できちんとセーブしていきましょう。

しんどいときは、先輩や顧問の先生に伝えるように心がけてください。



(写真は仮入部期間中のものです)

◆◆通常の授業が再開して、2週間が過ぎました◆◆

6月15日(月)から再開した通常授業ですが、この2週間どうでしたか。クラブ活動も再開し、2・3年生は延長も可能となっています。長い臨時休校期間はあまり動くことがなかったと思いますが、もう6時間授業に加えて、クラブ活動時間延長のペースに慣れましたか？疲れが溜まってきていませんか？

明後日から7月です。例年なら6月末までに期末テストが終了して、この時期はテストが返却され、間もなく個人懇談が始まり、夏休みに向けて期待を膨らませている時期です。でも今年は、夏休みはまだ先です。期末テストも3年生は7月15日(水)～17日(金)、1・2年生は7月16日(木)～17日(金)で、終業式は8月7日(金)です。



7月20日前後には梅雨も明けて、本格的な暑さとなります。その中での授業の実施となりますので、クラブ活動等で体が暑さに慣れていない人は、学校の登下校や体育授業でも熱中症にも気を付ける必要があります。しっかりと睡眠をとり、朝食を毎朝きちんと食べて登校するよう心掛け、授業などでも途中でしんどいと思ったら、決して我慢せずに早目に先生に申し出るようにしてください。

◆◆7月2日(木)、1・2年生はスマホの使用に関する講習会を行います◆◆

今週の7月2日(木)の1時間目に、1・2年生はスマホの使い方やSNS等の危険性などの講習会を実施します。講師の先生は、NIT情報推進ネットワーク(株)代表取締役の篠原嘉一先生です。全国的に有名な先生で、最新の情報を用いてとてもわかりやすくスマホを使っていく上での危険性等について教えてください。スマホ等のネットを使っている人は、自分自身が取り返しのつかないことに陥り一生後悔することになったりしないよう、しっかりと話を聞いてください。

例年だと3年生の皆さんも一緒に体育館で聞いているのですが、今年はコロナウィルス感染防止の為、3密になることを避けるために、3年生は講習をビデオで撮影した映像を後日教室で見るとします。3年生の皆さん、直接篠原先生の話をお聞きませんが、過去2回聞いているので我慢してください。

加えて、保護者のみなさまにも例年にご参加いただいておりますが、今年度に関しましては、少ししかスペースを確保できませんので、特に現在お困りの方のみご参加いただけるかたちと致します。ご了承ください。なお、お困りの方は遠慮なくご参加ください。講習会後の質問も可能です。



講習会日時：7月2日(木) 8時50分開始 9時40分終了。 場所：山田中学校体育館

◆◆考えてみよう（1）◆◆

◎ター先生が「Black Lives Matter」について、先生の思いを込めて話していただきます！！

前号の6号の「考えてみよう」で「Black Lives Matter」について取り上げました。あのときに取り上げた記事や、読んでみてくださいと紹介した記事は読んでみましたか？もしまだだったら、すぐにでもネットで検索して読んでください。事件の発生時にはたくさん記事が出ましたが、日本のマスコミらしくほんの2週間ほどで新たな記事は全くでなくなってしまいました。でもネット上には記事が残っていますので、検索をかけて事件についても振り返っておいてください。



何故かという、今年5月にジョージ・フロイドさんが白人警官に殺された事件、なんとこの事件が発生した場所は、ター先生がアメリカにいたときに住んでいた場所なんです。そして、アフリカ系アメリカ人であるター先生も外出するときに気を付けないといけないことなどを身をもって経験しているのです。そんなター先生が、この事件や「Black Lives Matter」についてのター先生の考え、そして黒人差別についての思い（ター先生の心にあるもの）をお話しくくださることにになりました。

こんなチャンスは滅多にあることではありません。たまたま今年ター先生が山田中学校に来てくださっていて、そのときにあの事件が発生し、世界を巻き込む大きな事件になった。そしてター先生から、アフリカ系アメリカ人の思いを直接聞くことができる。最大の学習チャンスです。人種差別は全人類にとって最も大きな課題であり、今の日本にも残念ながら存在するし、これから皆さんが社会に出れば必ず遭遇する課題です。今、ター先生から本当の思いを聴き、この人類の課題について、あなた自身の確かな考えを築いておきましょう。きっと大人になってから役立つはずですよ。

ター先生のお話は、クラスごとに1・2年生は7月中に行います。また3年生も授業時間の確保ができれば実施したいと思っています。それまでに、みなさんは必ず「Black Lives Matter」についていろんな記事を調べ、事前学習をし、ター先生に質問できるようになっておいてください！！ター先生の話をしっかり心で聴き、自らの心を磨いてほしいと思います。

保護者の皆様で、もし参観のご希望がありましたら学校までご連絡ください。ター先生は過去に「Black Lives Matter」について、大人の方向けの講演会でも講師を経験されています。

◆◆考えてみよう（2）◆◆

6月23日、この日が何の日か知っていますか？沖縄の「慰霊の日」です。75年前の昭和20年3月26日に始まった沖縄戦が6月23日に終わりました。「沖縄戦」、これまでの平和学習等で言葉を覚えている人もいるだろうし、どんなものだったかを覚えている人もいます。太平洋戦争で一般市民が犠牲となった戦いのなかでは、東京大空襲や広島・長崎の原爆投下よりも犠牲者が多かったかもしれない戦いでした。沖縄戦で亡くなった方は日本人では約20万人、内一般市民の犠牲者は10万人とされています。しかしこれは昭和19年2月の沖縄の人口と昭和21年1月の沖縄の人口から推計したもので、研究者の間では15万人ほどの一般市民が犠牲になったと言われていて、太平洋戦争中でもっとも一般の方の犠牲が多かった戦いとも考えられています。

その沖縄戦で生き残った方の証言が、沖縄タイムス（下のアドレス）に数多く掲載（有料の記事も多いので、読むとき注意してください）されています。沖縄の方々の本当の思いを読み取ってください。



<https://www.okinawatimes.co.jp/subcategory/%E6%B2%96%E7%B8%84%E6%88%A6>

この沖縄戦が本土決戦の時間稼ぎの為の「捨て石」作戦と呼ばれる裏にあるものを読み取りましょう。その裏にあるもの、それもひょっとしたら「Black Lives Matter」につながるものかもしれません。

日本は単一民族と言われていますが、実はそうではなくアイヌ民族（政府公認）の琉球民族（明治12年まで琉球王国存在）の方々がいます。アメリカ・カナダ、オーストラリアも白人が進出し国家を樹立するまで先住民族（西部劇では悪役で殺される対象）[本当は白人に土地と命を奪われた人々]が住む土地でした。世界には様々な人種差別や民族差別が存在し、悔しいかな今もあちこちに存在しています。

「考えてみよう（1）」と合わせて、単に「差別は駄目です」ではなく、その「根にあるもの」を、他人事ではなく、身近にあるものとして自分の心と照らし合わせて考えてほしいと思います。